

食物依存性運動誘発アナフィラキシーへの対応

食後2時間以内に起こることが多いが、4時間後でも起こることがある



運動中または直後にアナフィラキシーを疑う症状が出現

軽い症状なら5分ごとに観察し、医療機関の受診やエピペンを準備

呼吸器症状

- 口やのどのかゆみや違和感
- 鼻水・くしゃみ
- 軽い数回のせき

消化器症状

- 吐き気
- 軽い腹痛
- 嘔吐1回
- 下痢1回

皮膚症状

- かゆみ
- 数個のじんましん
- 部分的な赤み
- 唇の腫れ
- まぶたの腫れ

軽い症状

全身症状

- ぐったり
- 意識障害
- 失禁
- 顔色不良
- 爪が青白い
- 血圧低下
- 脈不整

2つ以上の臓器の症状

- のどや胸の締め付け感
- 息苦しい
- 喘鳴(ぜんめい)
- 声がれ
- 連続する強いせき

- 強い腹痛
- 嘔吐2回以上
- 下痢2回以上

- 全身のじんましん
- 全身の発赤
- 強いかゆみ
- 顔全体の腫れ

重い症状

心停止・呼吸停止

心停止の救命処置

重い症状が一つでもあれば
直ちにエピペン(エピネフリン自己注射薬)を大腿に打ち、
119番通報